

令和5年各地における豪雨被害の 被災医療機関等の復旧支援に関する要望書

例年激甚化、頻発化する豪雨災害により、本年度も静岡県、愛知県、福岡県、大分県や秋田県等において、医療機関等も大きな被害を受けました。

いずれの施設も、地域医療への責任感から懸命に復旧作業を行い、業務の再開に努めておられますが、本格的な業務再開には財政的な支援が不可欠な場合も多いと思われまます。

以上により、日本医師会として、下記の事項に係る補助を要望いたします。また、被災医療機関はいずれも地域の医療に不可欠な存在ですので、救急医療等政策医療の要件を厳格にせず既存補助事業の柔軟な運用や、新規事業の創設等につきご高配の程お願い申し上げます。なお、補助に当たりましては、被害の大きさや被災医療機関等の負担を鑑み、公私による差を付けず、事業者負担を極力最小限に抑えていただきますようお願いいたします。

令和5年7月31日

公益社団法人日本医師会

会長 松本吉郎

- 医療機関建物の修繕・建替え（事業者負担の軽減・免除）
- 医療機関設備の修繕・購入（CT, MRI, ICT 関連等）
- 業務を停止又は縮小している医療機関従業者の雇用維持
- 被災医療機関の二重債務問題（建物取得及び建替え費用）
- 災害復旧資金等の融資に係る利子及び担保・保証
- 被災医療機関に適用されうる財政支援制度（補助、無利子・低利子融資等）を所管する他省庁と連携のうえ、当該医療機関が最適な選択をすることができるよう、様々な支援策を取りまとめて示すこと